

若者たちの熱気ムンムン 猛暑の秋葉原でイベント尽くし

「8月4日はパチスロの日」にちなんで「パチスロまつり2015」

（日電協、回胴遊商主催）が8月2日、東京・外神田のベルサール秋葉原で開かれた。「8月4日はパチスロの日」のイベントは今年で5回目。

午後1時、オープニングセレモ

ニーでは主催者を代表して佐野慎一日電協理事長、伊豆正則回胴遊商理事長、「PSアンバサダー」に



任命されたタレント、森下悠里さんが会場入り口でテープカットを行った。会場は秋葉原の目抜き通りに面し、かんかん照りの猛暑にもかかわらず、パチス

ロファンや通りがかりの若者たちで賑わった。

「アイラちゃん」「ピーくん」

1階のオープンスペースでは、ホールのオリジナルキャラクターを対象にWebサイトで

人気投票を実施した「Pキャラクターランプリ」の授賞式が行われた。

イラスト部門ではエントリーの29キャラクターの中から「アイラちゃん」（東京、アイランド）、着ぐるみ部門では37キャラクターの中から「ピーくん」（東京、ピーアーク）がそれぞれグランプリに輝き、佐野

日電協、伊豆回胴遊商の両理事長から賞状と賞金が贈られた。別のスペースでは「回胴目押し祭・デ

カスマホコーナー」が開かれた。この間、人気アイドルグループな

どのライブが随所に挟み込まれた。

軽妙トークの応酬に沸く

地下1階のイベントホールでは、人気パチスロライターなど8人によるパネルディスカッションが催された。タイトルは「パチスロの



未来をちゃんと考えてみよう！」。

会場には攻略法雑誌3誌で募集した男女のパチスロファン約60人が詰めかけた。現在のパチスロ機、

これから出る予定の5.5号機などについて、軽妙なトークが展開され会場を沸かせた。

アイドルが手取り足取り

パネルディスカッションの隣の会場では、試打コーナーの「タッチ&トライ」が開かれた。コアファン向けのAT・ARTタイプ、初

心者向けのAタイプ計32台のパチスロ機が展示され、初心者にはア

イドルが横について遊び方をコーチした。展示機は新試験運用の検

定機をイメージし、旧試験運用のもの

原口あきまさ呼び込みも

会場入り口には物まねタレント

軽妙なトークに沸いたパネルディスカッション

8月4日は
パチスロの日



タレントの原口あきまささん(左から2人目)らが正面入口でアビール



賑わう試打コーナー「タッチ&トライ」

の原口あきまささんと女性タレントが座り、ときどき画面でパネルディスカッションに参加しながら通行人の呼び込みに活躍した。これらイベントの様子は、パチンコ・パチスロ動画配信サイトで全国に生中継された。

九州支部が「プレス懇談会」

業界の課題で意見交換 業界誌代表 3氏を招き

日遊協九州支部は7月31日、福岡市の福岡県遊技会館で「九州支部プレス懇談会」を開いた。業界プレスから「シークエンス」の三浦健一代表、「遊技通信」の伊藤實啓代表、「娯楽産業」の島津幸広代表の3氏を招き、樋口益次郎支部長以下会員51人、岩下博明九遊連会長以下各県遊協の19人が出席した。この会は、さまざまな問題を抱えている業界について、業界誌を代表する3氏とともに十分な意見

交換を行い、会員の意識向上、九遊協青年部への日遊協のアピールなどを目的として計画された。

今回は「遊技産業の閉塞感の中、我々がやれること、やるべきこと」をテーマにした。3氏からは現状と今後に対する懸念が

出され、フリート

ーキングでは業界環境への不満の声も聞かれたが、最終的には「業界は団結して、お客様が楽しく遊べる遊技を最優先」に考えるべきだとする方向が確認された。

打ち水ウィーク2015

浴衣姿も賑やかに

銀座を少し冷やしました

7月31日夕、恒例の「打ち水ウィーク2015」のイベントが東京・有楽町駅前広場で催され、エリア内にある東和産業(株)の2店舗

（「有楽町UNO」「有楽町DUO」）からも女性社員・アルバイト計15人が浴衣姿で参加した。

連日猛暑が続く、この日も夕方になってなお33・5度の蒸し暑さ。広場に設けられた特設ステージの周りには、同社を含めた近隣の店舗・オフィスの社員など計約50



「ソーレ!」と打ち水をする東和産業の女性たち

0人が華やかな浴衣姿で集合した。手に手に水を入れた手桶と柄杓を持って身構える。午後5時半過ぎ、司会の女性の「ソーレ!」の掛け声で一斉に打ち水を開始。銀座・有楽町方面に食事や買い物にきたカップルや家族連れ、勤め帰りのサラリーマンやOLが足を止め、つかの間の涼を楽しんだ。撒かれた水は災害備蓄で期限切れとなったペットボトルや雨水をろ過して集められた。

環境問題への取り組み

このイベントは、大手町・丸の内・有楽町夏祭り2015実行委員会（環境省、東京都、千代田区、地区の街づくり協議会など9団体）が主催し、今年で9回目。同社は1回目から参加している。「地球温暖化やヒートアイランド現象

などの環境問題・省エネ・エコ等について皆で考えよう」という趣旨で、大手町・丸の内・有楽町の3エリアで7月下旬から8月中旬にかけて打ち水や盆踊りなどのイベントが行われた。

河本泰信氏が著書

『ギャンブル依存症』からの脱出

久里浜医療センターの河本泰信精神科医長が『ギャンブル依存症』からの脱出』（SB新書 800円＋税）を著した。自らアルコール依存症であることを告白しながら、その体験も通してサブタイトルにあるように「薬なしで8割治る」欲望充足メソッド」を説いている。

「病的ギャンブルング部門」の責任者でもある河本医長は、広報誌「日遊協」の2014年3月号のインタビュー「明日を拓く」に登場して、「パチンコは風営法の下にある遊技です。が、相談の9割はパチンコ。やめるとは言いません。症状の見極めが重要です」と語ったが、本書でも同趣旨の治療法を展開している。



小野金夫氏が死去

中部支部相談役、小野金夫氏（タイホウコーポレーション(株)会長）が8月2日に死去。80歳。葬儀は近親者で営まれた。喪主は長男、直彦氏。「お別れの会」が9月25日、名古屋市西区樋ノ口町3番19号、ウエステインナゴヤキャッスルで開かれる。

小野氏は全日遊連の第二代理事長（1996～98年）。当時のマスコミの「パチンコ批判キャンペーン」に対する自衛策として、社会的不適合機75万台を撤去する思い切った施策を全国で進めた。また、モーターゼーションの到来を読み、郊外型店舗を考案、成功させた。

中国・四国支部 平和公園などを清掃

日遊協中国・四国支部は7月24日、広島市中区で「平成27年度平和記念公園一斉清掃」に参加した。雨のため順延されたこの日、30人参加した(株)プロバの平本直樹社長を先頭に、各社合わせて45人が「8・6原爆慰霊祭」参加者を快く迎えようと、清掃に汗を流した。この催しには市民2900人が参加した。

岡山地区では8月2日、(株)エムズ・ユーを中心としたメンバー65人が「岡山山火大会清掃ボランティア」に参加し

た。花火後で散乱するゴミなどを、任務分担に基づき早朝から手際よく清掃していった。なお、岡山地区では前日の8月2日、「地区意見交換会」を開き、石原雅文副支部長ら17人が出席し、遊技人口の減少、遊技きぎの取り扱い、依存問題、車内放置などについて話し合った。

九州支部役員会 勉強会などの詰め

日遊協九州支部は7月31日、福岡市の福岡県遊技会館で支部役員会を開き、樋口益次郎支部長以下15人が出席した。同日開かれる健全化勉強会とプレス懇談会の進行について最後の詰めを行った。

8月10月の支部活動については、9月のクリーンデーの実施、11月の持ち出し役員会の中止などを決め、(株)ワンダフルクリーン（ホール清掃業）を賛助会員として本部に申請することを承認した。

玉屋、県警からも感謝状

(株)玉屋は8月11日、街頭監視カメラ設置に貢献したとして福岡県警察本部谷口直人生活安全部長から感謝状が贈呈された。(株)玉屋は福岡市西区内のカメラ設置で、すでに所轄の福岡県西警察署から感謝状を受けているが、県内全店舗への設置について要請を受

け、最終的に13店舗16か所に監視カメラを設置した。

中部支部 車内放置撲滅へ

日遊協中部支部は8月7日、名古屋市緑区の京楽会館南大高店駐車場で「子どもの車内放置撲滅キャンペーン」を行った。この活動は7月8日に東海市で行われたキャンペーンに続くもので、山口悟支部長以下12人、緑区遊技場防犯組合、緑警察署生活安全課など計17人が参加した。駐車場の車内放置点検、啓発チラシの配布、ポスター表示などを行い「車内放置撲滅」をアピールした。

ゴト対策の再確認

日遊協中部支部は7月29日、名古屋市のアイリス愛知で「セキユリティー対策部会」を開き、山口悟支部長、内ヶ島隆寛部会長以下22人が出席し、中部遊商から谷野博セキユリティー対策委員長が参加した。

ゴト情報の報告は少なかつたが、ゴト師を逮捕に持ち込んだケースなどが報告され、ホールコンピュータのデータ異常の確認の重要性が再確認された。

九州支部 会員・業界消息

●住所・代表者等変更
株式会社飛鳥商事

代表取締役・宮崎隆行
盛岡市東見前5地割57番地・2階
TEL019・601・5575
FAX019・632・6571

事務所移転

7月10日
株式会社スリーストン

埼玉県草加市
谷塚上町80番1号
8月17日

代表者変更

7月10日
取締役開発事業部部长
・内匠亮太郎
8月21日

DATA SPOT

前年比300店舗以上減は3か月連続

全日遊連は8月24日、店舗数、遊技機台数の2015年7月分を発表した。店舗数は前月6月（1万423店舗）と比較して16店減っている。1万407の店舗数は年間ペースだと昨年7月（1万766店）と比較して、この1年間で359店舗マイナスとなり、300店舗以上の減少が3か月連続となった。

遊技機では、パチンコが1年間でマイナス6万3800台（昨年7月272万4278台）となり、一方パチスロ機はプラス5313台（昨年7月149万4117台）と前年を上回っている。全体的に大きな変化は見られないが、長期低落傾向は動かし難い事実となっている。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	275	0
東北	602	+1
東京	619	+1
関東	1793	+8
中部	590	+8
近畿	1003	+2
中国	348	+2
四国	182	-2
九州	692	+5
全国計	6104	+25

(2015年7月31日現在)

平成27年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	10,638	13	33	135 (20)	2,699,996	1,507,334	156	4,207,486
2月	10,613	9	39	129 (9)	2,690,969	1,504,884	156	4,196,009
3月	10,571	5	51	125 (12)	2,689,043	1,505,010	156	4,194,209
4月	10,558	23	51	115 (11)	2,690,056	1,509,613	156	4,199,825
5月	10,480	3	78	104 (36)	2,672,875	1,501,585	156	4,174,616
6月	10,423	5	61	126 (24)	2,662,696	1,498,686	252	4,161,634
7月	10,407	7	40	112 (11)	2,660,478	1,499,430	156	4,160,064